



麦の品質安定、収量増加のためには、麦踏み、追肥、雑草防除等の基本的な栽培管理が重要となりますが、麦は米と比較すると収益が低いため、十分な栽培管理をしない事も多くあります。

その一方で、栽培管理をしっかりとって収量を向上させ、収益を上げている生産者もいます。そこで、反収500kgを実現している生産者の取り組みから収量増加や品質安定の手法を学び、麦の生産性を向上させる重要性を考えます。



日時等

✓ 令和7年12月16日(火) 13:30~15:00

✓ 開催方法: オンラインによる生配信



申込

✓ 令和7年12月10日(水) 申込締切

✓ <https://forms.office.com/r/e0Z5006C4x>

※ 参加希望の方は上記URLもしくは右の二次元コードよりお申込みください。



内容

1. 反収500kgと200kgの
麦栽培の違いについて
JA全農いばらき 米穀部米穀課
課長代理 松本宏史 氏

先進的に取り組む
雑草(カラスムギ)対策も
紹介！

2. 反収500kgを実現した
麦づくりについて
群馬県伊勢崎市
農事組合法人波志江北部
代表 石田 喜代治 氏

高反収の要因となる
栽培管理を紹介！

3. 今後の麦生産を考える
講演者によるクロストーク

この先求められる
麦づくりとは!?



連絡先等

関東農政局 生産部 生産振興課



048-740-0117

主催: 農林水産省 関東農政局



勉強会の内容 & 講師紹介



1. 反収500kgと200kgの麦栽培の違いについて

JA全農いばらき 米穀部米穀課 課長代理 松本宏史 氏



収量の差は基本的な栽培管理ができているか？

集荷・流通事業者の立場から産地の課題(雑草問題や収量の低下、面積の減少)等の危機意識を共有いただいた上で、収量や品質を上げるための管理方法や必要な資材等を紹介いただきます。そして、数多くの麦生産者と接してきた松本氏に、反収500kgと200kgの生産者の麦づくりの違いについて、栽培管理の視点から詳しく解説いただきます。

また、近年は関東の麦産地の多くが、カラスムギやネズミムギ等の雑草対策に苦慮している現状ですが、茨城県ではいち早くカラスムギの対策に取り組み、防除体系を確立しています。この雑草対策についてもカラスムギが発生するメカニズムをご説明いただいた上で防除方法を教えていただきます。

2. 反収500kgを実現した麦づくりについて

群馬県伊勢崎市 農事組合法人波志江北部 代表 石田 喜代治 氏

毎年、高反収の麦生産を続ける秘訣とは！

米麦の2毛作で、水田で「きぬの波」と「さとのそら」、畑地で「ゆめかおり」を栽培する波志江北部。3品種を導入することで、播種時期や収穫時期をずらすことができ、作業工程を組みやすくしています。5年ほど前は、地域の農家の高齢化の影響で作業が行き届かず、麦の反収は300kg台となり、品質が落ちる一方でしたが、作業計画をしっかりと立て直し、耕うんや麦踏み、追肥等の栽培管理を徹底して行ったところ、反収は500kgを超え、等級は1等比率が100%となりました。

「耕うんをしっかりして排水性を上げて、適量の肥料を与える等の基本的な作業をしないと、小麦の収量や品質は上がらない」と話す石田氏。近年は、収量コンバインを導入し、各ほ場の反収を調べ、収量の少ないほ場にはプラス5kg追肥を行う等の施肥設計をし、全てのほ場で収量が上がるようにしています。高反収・高品質の麦づくりを実践している同法人。生産性の向上のポイントとなる栽培管理方法や年間の栽培スケジュール等を石田氏に教えていただきます。

農事組合法人波志江北部

平成19年に集落営農組織を設立後、地域の農家の高齢化が進んだことから、平成22年に法人化。現在は約50haで米麦の2毛作を行い、1haでネギやキャベツを栽培している。主な農業従事者は石田代表と3人の従業員。

※ 複数名お申込みの場合は、お手数ですが、お一人ずつ記載事項の記入をお願いいたします。

※ お申し込みいただいた後、自動送信メールにて参加用URLをお送りいたします。参加用URLが届かない場合は048-740-0117までお電話をお願いいたします。

※ 録音・録画はご遠慮願います。

※ 参加用URLの使用は本人限りとし、転送・公開しないでください。